

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

2010年度 連結決算

2011年5月9日

株式会社 **東芝**

代表執行役副社長 村岡 富美雄

この度の東日本大震災で被害にあわれた皆様と
ご家族の方々に心からお見舞い申し上げます。

注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
 - これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
 - また、多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。
 - 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの12ヶ月累計です。
 - 2010年度および過年度のセグメント情報の数値は、2010年度の組織変更に伴い、組替えて表示していますが、2011年度の組織変更は反映していません。
 - 2011年度のセグメント別業績見通しは、4月1日付組織変更を反映しています。
- ※ 携帯電話事業に係る経営成績は、米国会計基準に基づき、連結損益計算書上非継続事業として取り扱われるため、売上高、営業損益、税引前損益には含まれておらず、過年度の数値も組替表示しています。

2010年度決算のポイント

- 売上高は、円高および東日本大震災の影響はあるものの、デジタルプロダクツ、電子デバイスを中心に、対前年で増収
 - 売上高 6兆3,985億円（対前年 +1,073億円、+1.7%）
- 営業損益は、デジタルプロダクツ、電子デバイス、社会インフラ、家庭電器の全セグメントで黒字（電子デバイスで大幅に改善）
 - 営業損益 2,403億円（対前年 +1,151億円）
 - 税引前損益 1,955億円（対前年 +1,611億円）
 - 当期純損益 1,378億円（対前年 +1,575億円）
 - 連結・単独ともに、金融危機前の利益水準まで回復
- フリー・キャッシュ・フローは純利益を超える水準を確保し、財務基盤を強化
 - フリー・キャッシュ・フロー 1,594億円（対前年 ▲391億円）
 - D/Eレシオ 125%（対前年 ▲28%）
- 1株当たり3円の期末配当（年間配当5円）を実施

概要

単位:億円

摘 要	10年度	09年度	差
			対09年度
売 上 高	63,985	62,912	1,073
営 業 損 益 %	2,403 3.8%	1,252 2.0%	1,151
税 引 前 損 益 %	1,955 3.1%	344 0.5%	1,611
当 期 純 損 益 %	1,378 2.2%	-197 -0.3%	1,575
基 本 的 1 株 当 た り 当 期 純 損 益	32円55銭	-4円93銭	37円48銭

セグメント情報

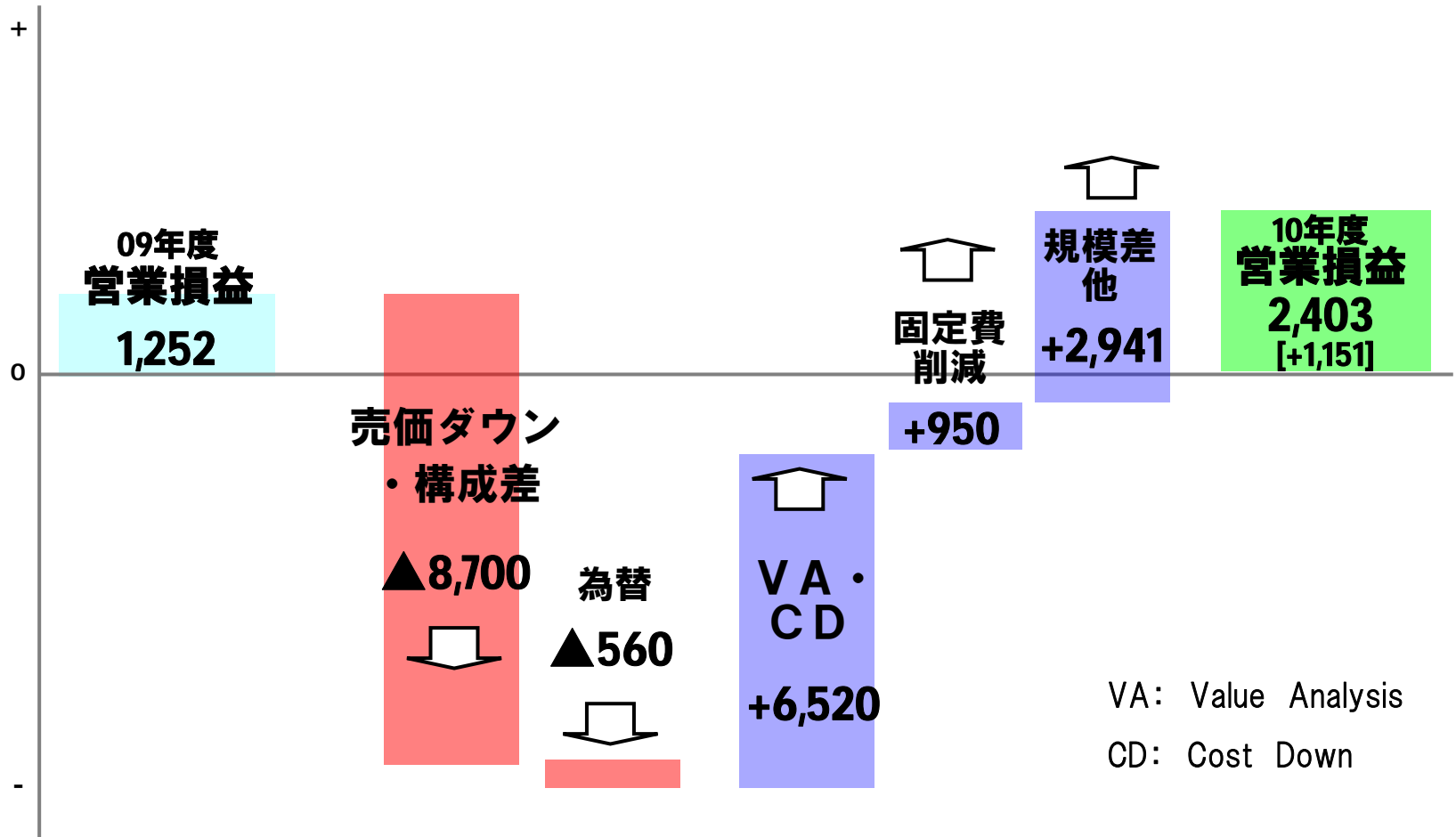
単位:億円

売上高	10年度	09年度	差
			対09年度
デジタルプロダクツ	23,286	22,632	654
電子デバイス	13,477	12,700	777
社会インフラ	22,677	23,190	-513
家庭電器	5,998	5,798	200
その他	3,529	3,456	73
連結計	63,985	62,912	1,073

営業損益	10年度	09年度	差
			対09年度
デジタルプロダクツ	132	213	-81
%	0.6%	0.9%	-0.3%
電子デバイス	868	-204	1,072
%	6.4%	-1.6%	8.0%
社会インフラ	1,371	1,372	-1
%	6.0%	5.9%	0.1%
家庭電器	88	-54	142
%	1.5%	-0.9%	2.4%
その他	-76	-77	1
%	-2.2%	-2.2%	0.0%
連結計	2,403	1,252	1,151
%	3.8%	2.0%	1.8%

営業損益分析

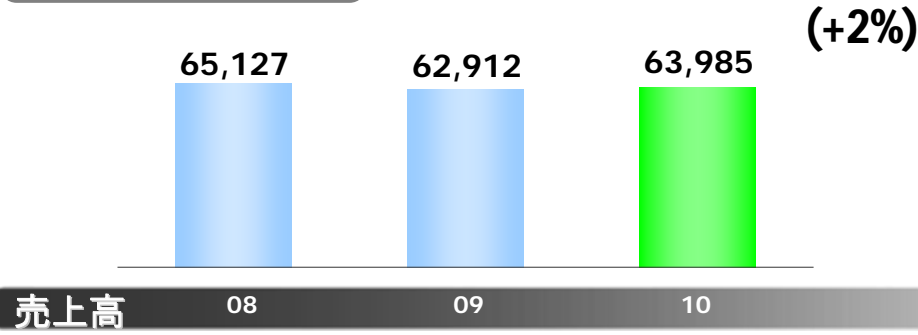
単位：億円
(対09年度)



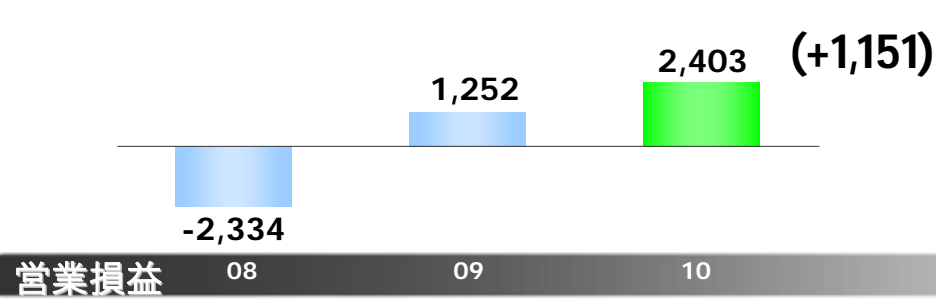
VA: Value Analysis
CD: Cost Down

決算レビュー

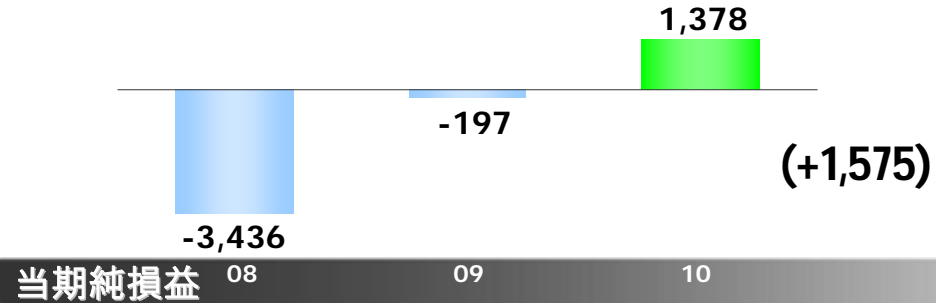
単位: 億円
(対09年度)



■ 売上高: 増収
デジタルプロダクツ、電子デバイス、家庭電器で増収



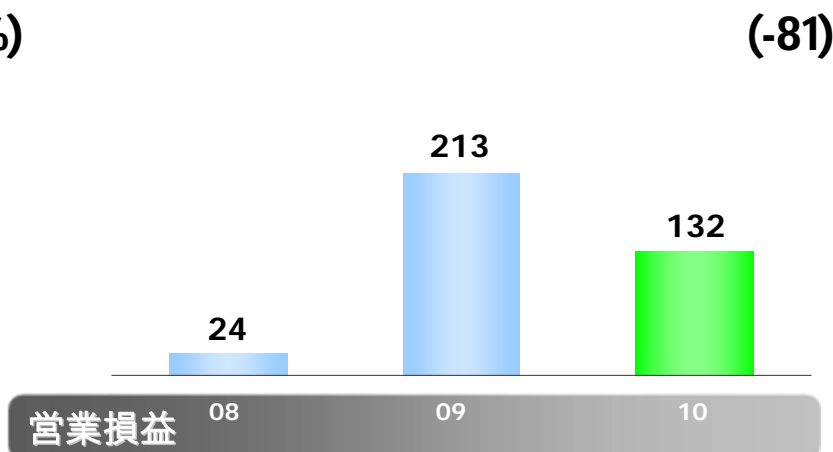
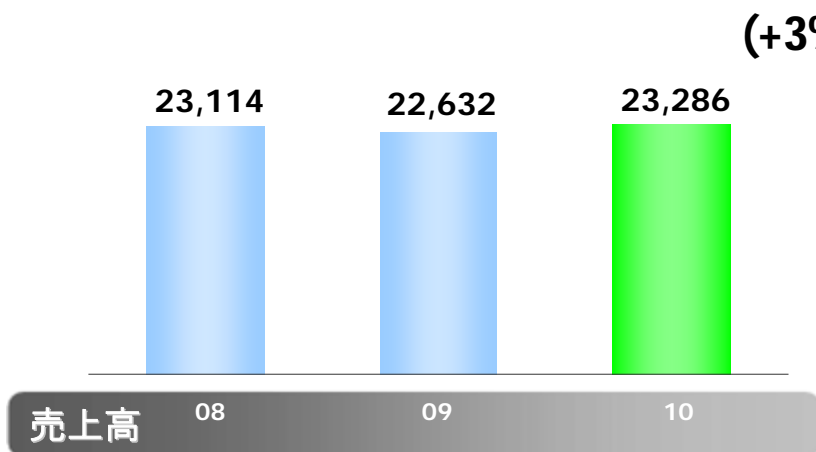
■ 営業損益: 増益
電子デバイスが大幅に改善、家庭電器も改善



■ 当期純損益: 黒字化
営業損益、税引前損益と共に大幅改善し金融危機前の水準まで回復

デジタルプロダクツ

単位:億円
(対09年度)

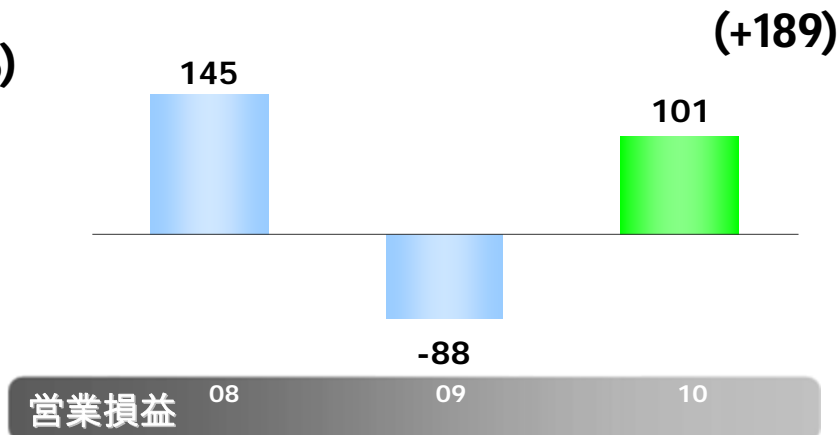
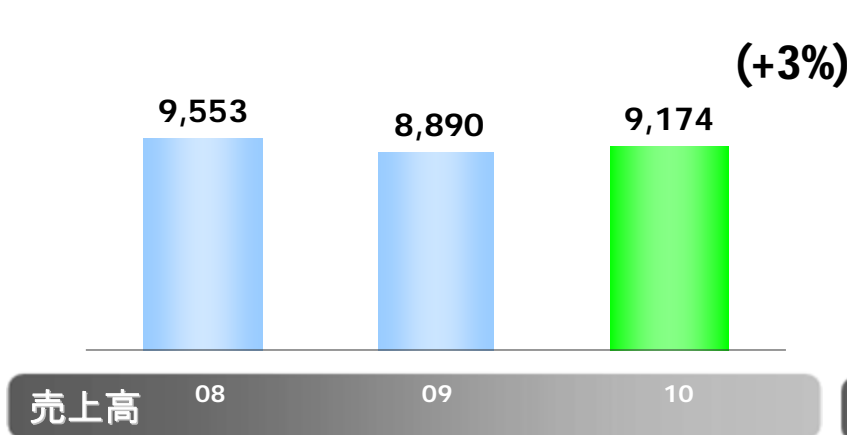


■ 液晶テレビ、パソコンの伸長により
全体で増収

■ パソコン、流通・事務機器が増益に
なったものの、記憶装置(ハードディスク
装置、光ディスク装置)が市況悪化など
により、全体で減益

パソコン

単位: 億円
(対09年度)

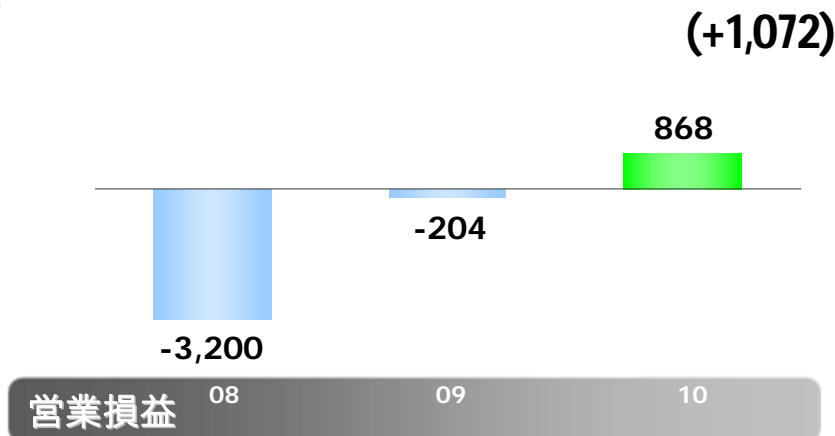
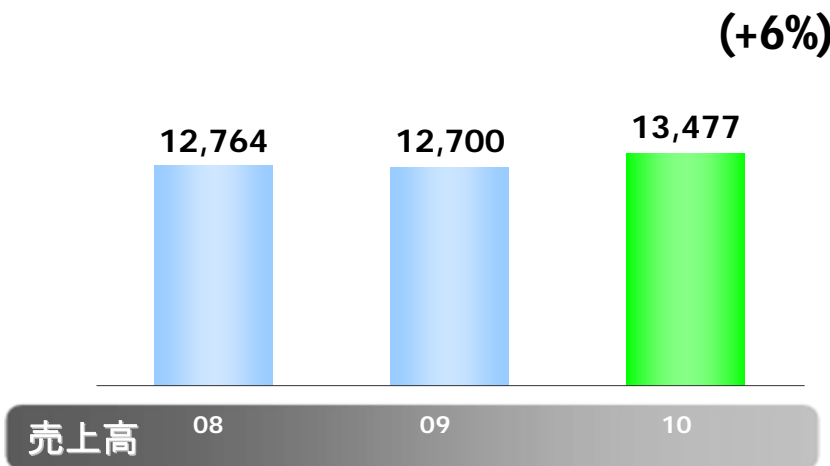


■ 米国、アジア、日本を中心に販売台数が伸長し、増収

■ 増収と継続的な原価低減に加え、原材料価格の下落などにより大幅改善し、黒字化

電子デバイス

単位: 億円
(対09年度)

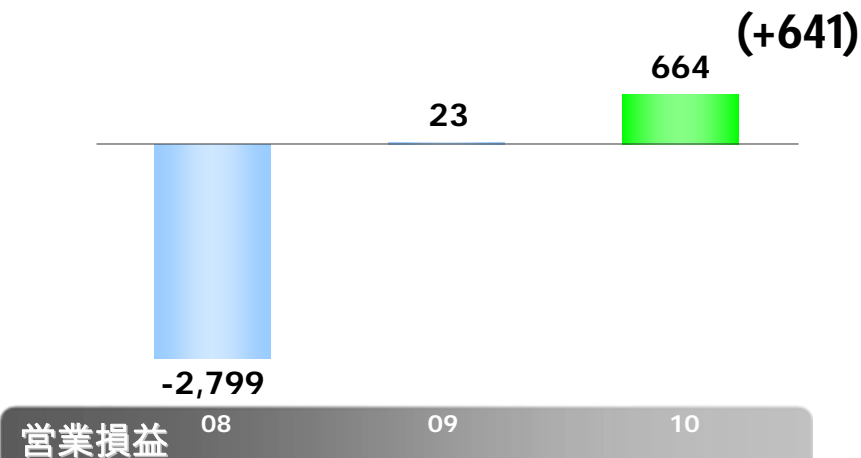
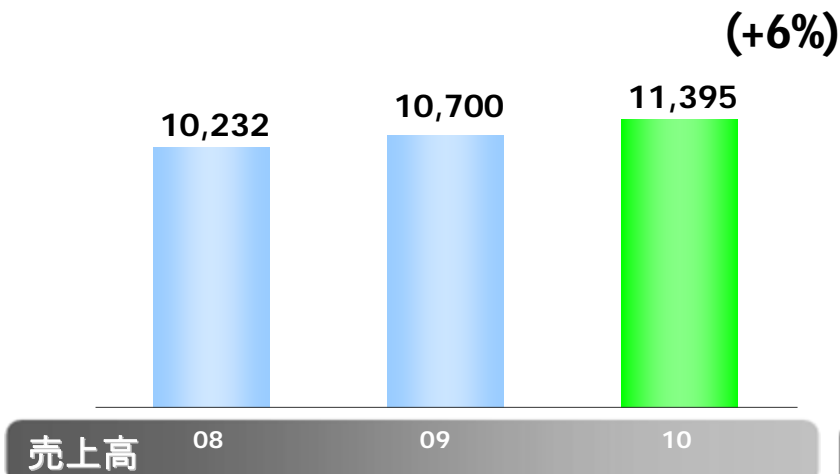


■ 円高の影響があるものの携帯機器等の需要拡大により、メモリ、液晶が好調で、部門全体で増収

■ 半導体、液晶が共に好調を維持し、コスト削減等の効果により、部門全体で大幅な黒字を達成

半導体

単位:億円
(対09年度)



■ NAND型フラッシュメモリがスマートフォン・タブレットPC向け、SSD等の需要増により大幅増収、ディスクリートも堅調で部門全体で増収

SSD : ソリッドステートドライブ
NAND型フラッシュメモリを使用した記憶装置

■ システムLSIの減損はあるものの、NAND型フラッシュメモリの増収に加え、コスト削減効果等により、大幅増益

半導体 内訳

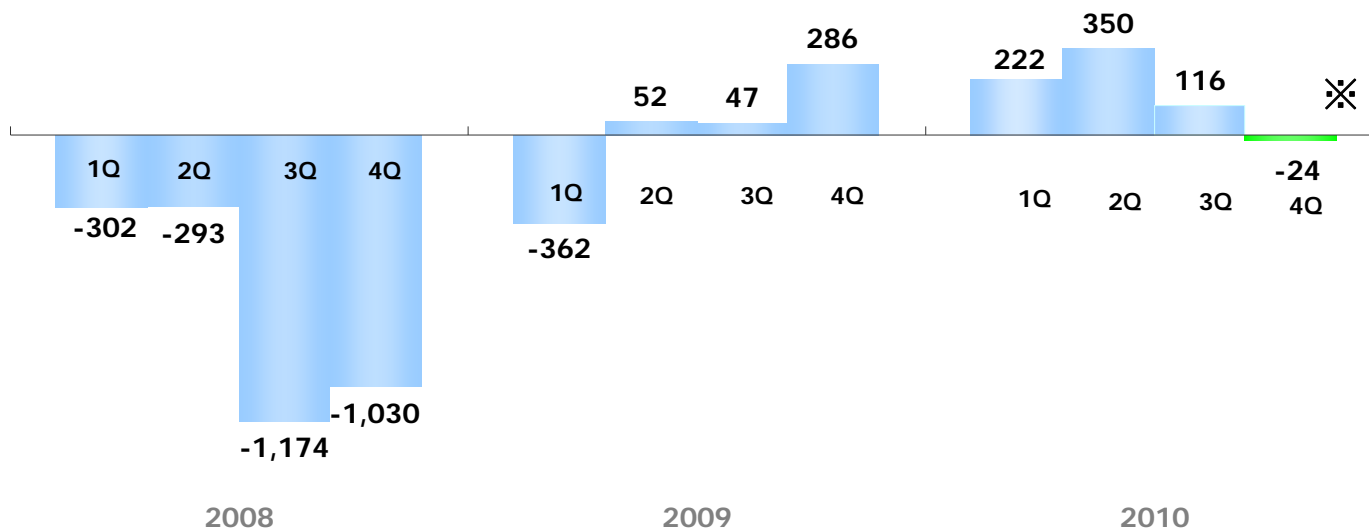
単位:億円

売上高	10年度	09年度	対09年度
ディスクリート	1,962	1,961	1
システムLSI	3,352	3,464	-112
メモリ	6,081	5,275	806
半導体計	11,395	10,700	695

営業損益	10年度	09年度	対09年度
半導体計	664	23	641
%	5.8%	0.2%	5.6%

半導体 四半期別営業損益トレンド

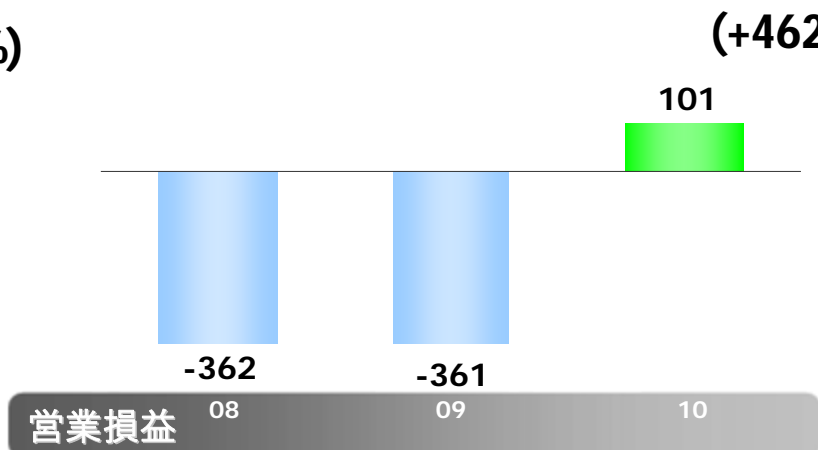
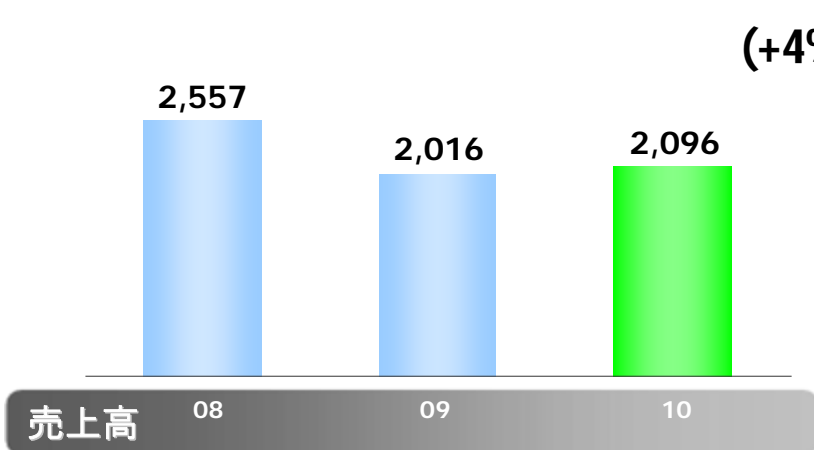
単位:億円



※ 2010/4Qの営業損益には、
システムLSIの設備の一部の減損損失▲159億円を含む

液晶

単位：億円
(対09年度)

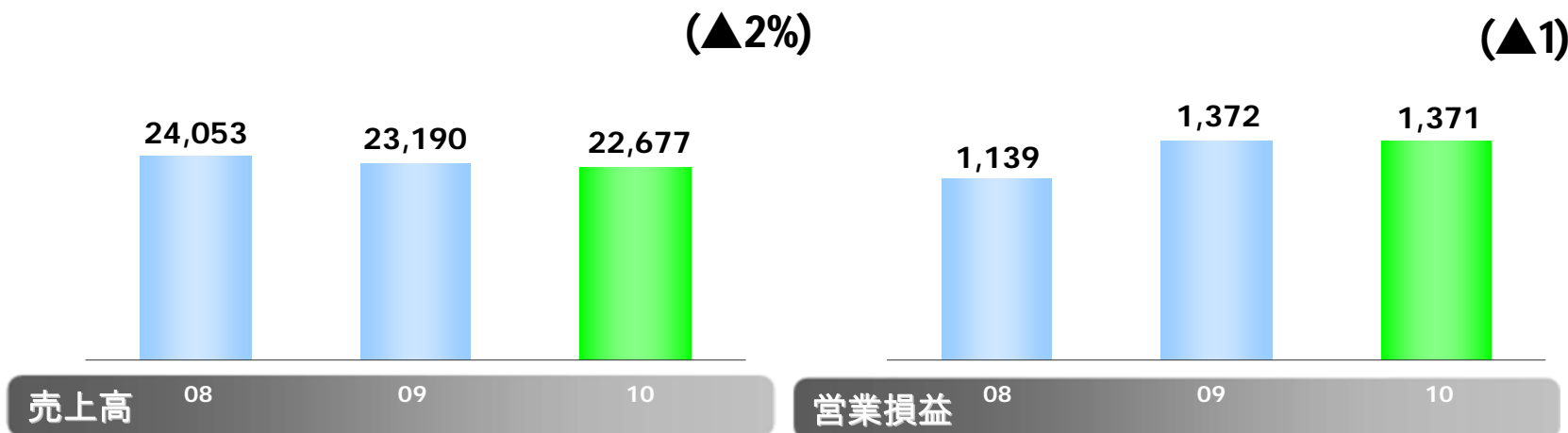


■ 携帯端末向けを中心とした需要の増加により増収

■ 構造改革による体質強化に加え、需要の増加、コスト削減効果等により大幅改善し、黒字化

社会インフラ

単位:億円
(対09年度)

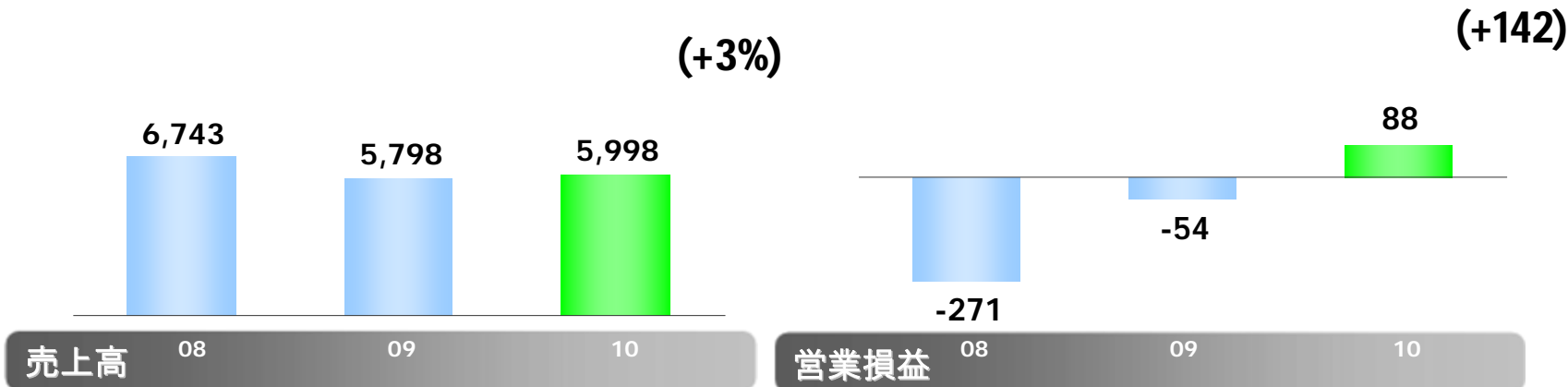


■電力・産業システムが、堅調に推移したものの、社会システム、ソリューションおよび医用システムの市場低迷や震災の影響もあり、部門全体では横ばい

■電力システムが好調で増益となり、引き続き高い利益水準を維持

家庭電器

単位:億円
(対09年度)



■エコポイント制度の効果と猛暑による需要の増加等により、白物家電、家庭用エアコンが好調で、部門全体で増収

■増収に加え、構造改革の効果により改善した結果、白物家電、照明、空調のいずれの事業も黒字

営業外損益

単位:億円

	10年度	09年度	差
			対09年度
有価証券評価損	-64	-90	26
固定資産売却損益	190	-217	407
持分法投資損益	185	224	-39
為替差損益	-31	66	-97
金融収支	-236	-277	41
その他	-492	-614	122
合計	-448	-908	460

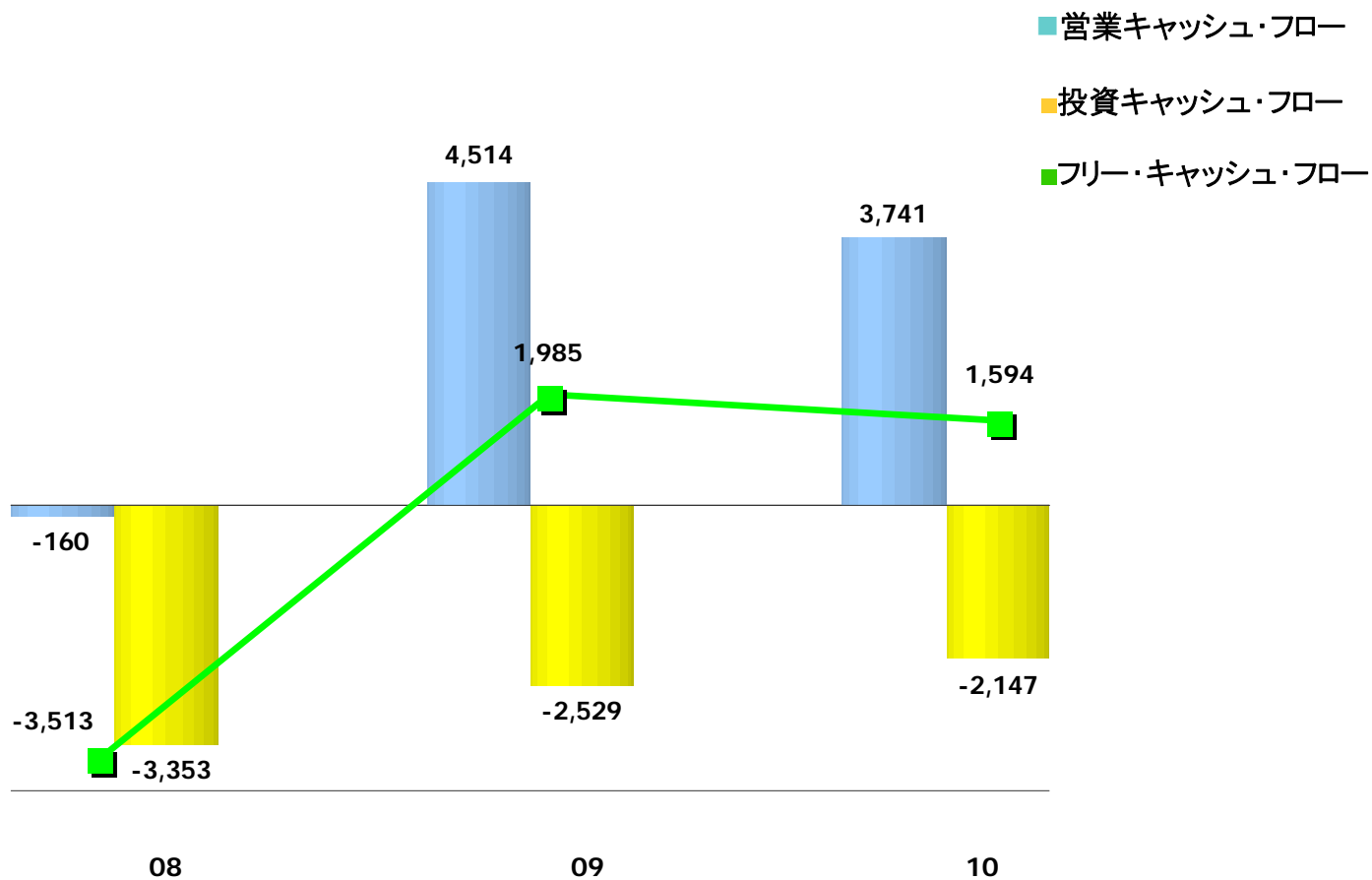
法人税等・非支配持分帰属損益

単位:億円

	10年度	09年度	差
			対09年度
税引前損益	1,955	344	1,611
法人税等	-407	-335	-72
非継続事業からの損失	-82	-62	-20
非支配持分帰属損益	-88	-144	56
当期純損益	1,378	-197	1,575

キャッシュ・フロー

単位: 億円

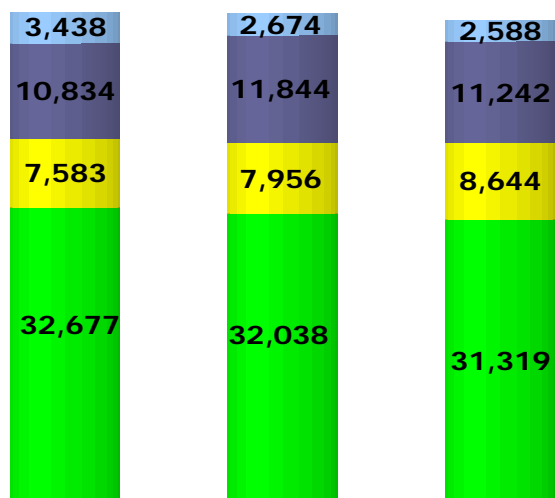


貸借対照表

単位:億円

資産

54,532 54,512 53,793



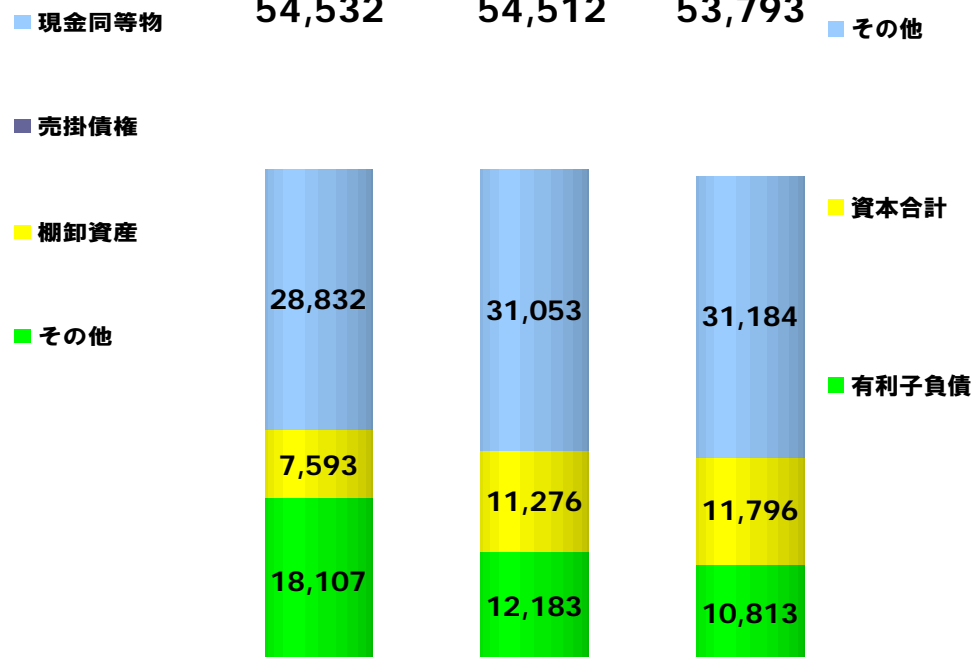
09/3末

10/3末

11/3末

負債・資本

54,532 54,512 53,793



09/3末

10/3末

11/3末

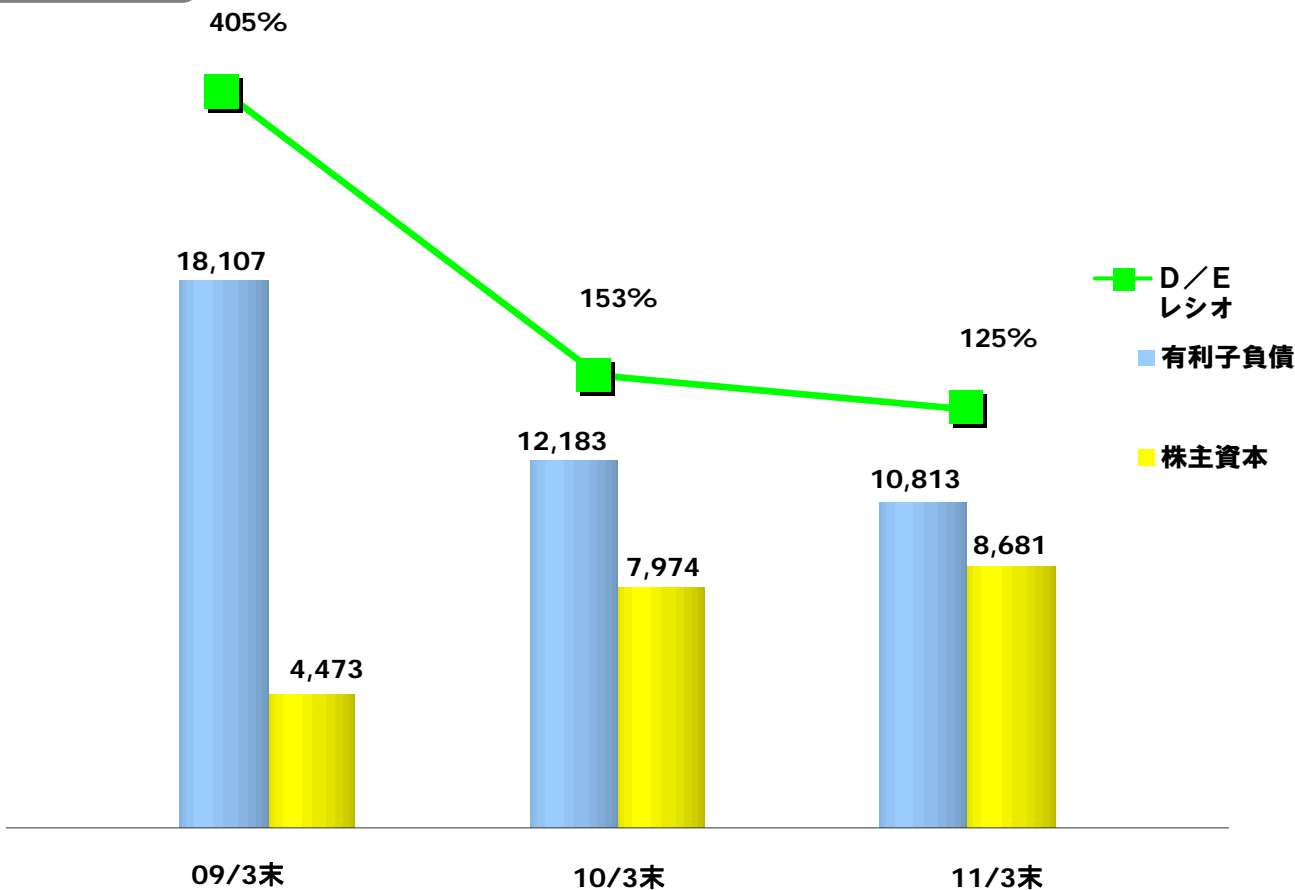
資本の部

単位:億円
(対10/3末)

	11年 3月末	10年 3月末	増減
資 本 金	4,399	4,399	0
資 本 剰 余 金	3,996	4,477	-481
利 益 剰 余 金	5,515	3,754	1,761
そ の 他 の 包 括 損 益 累 計 額	-5,214	-4,643	-571
自 己 株 式	-15	-13	-2
株 主 資 本	8,681	7,974	707
非 支 配 持 分	3,115	3,302	-187
資 本 合 計	11,796	11,276	520
株 主 資 本 比 率	16.1%	14.6%	1.5%

D/Eレシオ

単位:億円



概要 11年度業績見通し

単位:億円

摘 要	11年度	10年度	差
			対10年度
売 上 高	70,000	63,985	6,015
営 業 損 益 %	3,000 4.3%	2,403 3.8%	597
税 引 前 損 益 %	2,400 3.4%	1,955 3.1%	445
当 期 純 損 益 %	1,400 2.0%	1,378 2.2%	22
基 本 的 1 株 当 た り 当 期 純 損 益	33円06銭	32円55銭	0円51銭

セグメント情報 11年度業績見通し

単位:億円

売上高	11年度	10年度	差
			対10年度
デジタルプロダクツ	25,500	23,286	2,214
電子デバイス	14,500	13,477	1,023
社会インフラ	25,000	22,677	2,323
家庭電器	6,500	5,998	502
その他	3,600	3,529	71
連結計	70,000	63,985	6,015

営業損益	11年度	10年度	差
			対10年度
デジタルプロダクツ	200	132	68
%	0.8%	0.6%	0.2%
電子デバイス	1,400	868	532
%	9.7%	6.4%	3.3%
社会インフラ	1,500	1,371	129
%	6.0%	6.0%	0.0%
家庭電器	100	88	12
%	1.5%	1.5%	0.0%
その他	0	-76	76
%	0.0%	-2.2%	2.2%
連結計	3,000	2,403	597
%	4.3%	3.8%	0.5%

TOSHIBA

Leading Innovation >>>